

〔赤嶺奈津江議員 登壇〕

○12番 赤嶺奈津江さん 今議会も最終ということで、質問させていただきたいと思います。同僚議員が同じような内容の質問もやっておりますけれども、私のほうは先に質問した方のものも含めて、先ほど仁士議員から深掘りですかと聞かれたんですが、深掘りしていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

それでは最初、一括質問して答弁をいただいた後、再質問から一問一答でいきたいと思いますので、よろしくお願いします。質問は4点です。1点目、新型コロナウイルスによる臨時休校の影響と授業日数・時数確保、土曜授業について問う。(1) 新型コロナウイルス感染症への対応のため、臨時休校・休業が長期となった。授業日数と授業時数確保の対策はどうなっているか。(2) 新型コロナウイルス感染症の影響で休校期間も長期化した。また、今後、学校で感染者が出た場合、その学校は休校となる。授業日数・授業時数確保が厳しい状況となっている中、那覇市では土曜授業を予定している。出したときには予定だったんですが、今開始されております。本町においても、早期に土曜授業を開始するべきと思いますがどうでしょうか。

大きい問い2点目です。新しい生活様式に対応した避難所運営はどうなったか。(1) 前回の質問で南風原町地域防災計画の中での見直し、修正予定をたできました。今回の台風9号、10号における避難所運営・防災対策を受けて課題とその対策をどう行ったか、お伺いします。

3点目、町道10号線についてお伺いします。(1) 令和2年第1回定例会3月議会で町道10号線の歩道設置について質問しましたが、県との調整は進んでいるかお伺いします。

4点目、資源ごみへの対応を問う。(1) ごみ処理事業を共に行っている那覇市が草木処理について、燃やすごみとして処理することを検討していると聞いております。本町の見解を伺いたいと思います。(2) 那覇・南風原クリーンセンターでは、処理場で発生する熱を利用し余剰電力を売電しております。那覇市では今後の財政のために、草木処理を燃やすごみとして処理することを検討していると聞いている。国は処理の優先順位を法定化し、第1に発生抑制、第2に再使用、第3に再生利用、第4が熱回収、第5に適正処分と優先順位を位置づけております。すみません、休憩をお願いします。

○議長 玉城 勇君 休憩します。

休憩（午後1時36分）

再開（午後1時36分）

○議長 玉城 勇君 再開します。12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 本町の対応は、3番目に位置づけている再生利用となっている。熱回収は4番目となっているので、今後、本町の草木処理についての見解を伺いたいと思います。よろしくお願いいたします。

○議長 玉城 勇君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 まず質問事項1点目の(1)にお答えいたします。授業日数、授業時数の確保については、夏休みの短縮、行事の精選、短縮日課による6校時や7校時の設定など、学校の状況を踏まえ、各学校ごとに取り組んでおります。

(2)についてでございます。現時点では土曜授業については予定はございません。しかしながら、今後の状況により臨時休校があった場合には土曜授業も検討をしてみたいと思います。

○議長 玉城 勇君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項2点目の新しい生活様式へ対応した避難所運営はどうなったかについてお答えします。台風9号、10号の襲来時において、受付での検温や手指消毒の実施、複数部屋を避難スペースとして開設、仕切りの設置、体調不良者と健康な方のトイレを分ける対策を行いました。また、避難所閉鎖後は消毒作業を行い、施設の通常利用が可能な状態を保ちました。今後も引き続き、新しい生活様式に対応した避難所運営に努めてまいります。

質問事項3点目、町道10号線に問うについてお答えします。県とは地域の要望、状況に応じて片側歩道から両側歩道に変更するのは可能だということは確認しました。構造基準、費用等も考慮し、検討しております。

質問事項4点目の資源ごみへの対応を問うの(1)についてお答えします。町内において排出された草木の処理は処理業者に委託し堆肥化されておりますが、那覇市も同様の処理を行っています。那覇市に草木処分について、焼却処分を検討しているか確認したところ、検討事項ではあるが焼却する方針が決まったということはないという回答でありました。処分方法については、共同でごみ処理を行っている那覇・南風原クリーンセンターとも慎重に議論する必要があると考えております。

(2)についてお答えします。国の定める循環型社会形成推進基本法では廃棄物等においてはご指摘のとおり、第1に発生抑制、第2に再使用、第3に再生利用、第4に熱回収、第5に適正処分と優先順位が定められております。現在、本町における草木処理については、堆肥化する原材料として使用する第3の再生利用となっているとの認識をしております。那覇市においても焼却処分による第4の熱回収として取り扱うということが決まったわけではありませんので、本町においても引き続き適正な処理を行っていきたいと考えております。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。授業時数の確保のために6校時、7校時を増やしたりとか、行事を精選したり、短縮日課をしているということでもありますけれども、今、下校時間が7校時までであるということですので、平均大体何時ぐらいに帰るのか。一番遅く下校する時間で何時頃になるのか。また1年生と6年生は違うと思います

ので、低学年、高学年、また中学生でお願いしたいと思います。

○議長 玉城 勇君 教育指導主事。

○教育指導主事 大城 圭君 お答えいたします。6校時、7校時で授業時数の確保ということで確認しておりますが、この確保についても子供たちの負担過重にならないように週1回、または多くても週2回の設定で3か月、または5か月のスパンをかけて確保するというふうに活動しております。ですので、この6校時、7校時も週1回または2回という形になりますが、今確認している内容では、小学校のほうでは北丘小学校が7校時を予定しています。週1または週2回という形になります。南星中学校も同じく週1回または週2回ということですが、それぞれ7校時にしても、基本的には6校時終了時間とほぼ同じ時間に下校する問い形になっております。短縮日課で実施しますので、それぞれ5分の減で、合計で30分早く授業時数が進みますので、北丘小学校においては休憩時間、のびのびタイムもこの7校時のときにはカットをするということでしたので、通常は15時40分以下校するところを15時半に、逆に早くなる。のびのびタイムの減の件で。あとは金曜日に関しては10分伸びて15時50分には下校するというふうに確認しています。南星中学校においては6校時と同じ時間の16時5分には子供たちの下校ということになっております。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。3か月から5か月かけて遅れを取り戻すということで、夏休みも短縮して対応されている先生方、現場の方には本当に感謝なんですけれども、実際、子供たち、スピードアップしないと追いつかないのは分かるんですが、実質アップアップしてくるんじゃないかという懸念もありまして、また行事も大分カットされているというふうに聞いているんですが、現段階においてスピードについていけないとか、学習でちょっと心配というか、そういったところで相談等はないでしょうか。

○議長 玉城 勇君 教育指導主事。

○教育指導主事 大城 圭君 お答えいたします。臨時休業が伸びたために、子供たちが授業についていけない児童生徒等への対応なんです。今現在、担任を中心に教科担任、そして学校に配置している学習支援員が隙間時間や放課後に補習授業等を行って対応しています。また算数、数学、英語に関しては学習支援員がTTという形で事業へ参加して、きめ細やかな対応をしております。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。今、聞いたところでは不安がある子には対応を現場でやってもらっているということなんです。中には放課後で対応している

部分もあるということで、反対にまた子供たち、授業以上に一緒にやる時間が、勉強する時間が長くなっているのかと、私反対に不安を覚えた部分もあるんですが、いっぱいいっぱい勉強することで学校が嫌とか、そういった欠席の部分も心配するものですから、今回の一般質問、同僚議員からもあったんですが、不登校気味になったりとかそういったところも、コロナで不安もあるけれど、勉強についていけないんだったらいいよみたいなところも出てこないかなという不安もあるものですから、学校が楽しいところと思ってほしいというのが私の本音です。行事をカットするということは、楽しみがある意味減る部分も大きいですね。そういうところでは（２）にもかかるんですが、中止になった行事はどういったものがあるんでしょうか。また縮小された行事、どういった内容になったのか、分かる部分でお願いしたいと思います。

○議長 玉城 勇君 教育指導主事。

○教育指導主事 大城 圭君 お答えいたします。学校行事については、感染拡大防止を講じた上で、実施できる行事については、運動会、修学旅行など、内容を縮小して実施しています。音楽発表会や合唱コンクールなど、屋内で実施する３密が重なる行事については例年どおりの開催は中止になる行事もありますが、内容を縮小し、学級単位の授業参観として実施できないか検討している学校もあります。また１学期に中止した小学校において１年生を迎える会、これも感染状況を、対策を徹底した上で２学期に実施したいという報告等も受けております。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。運動会、先日北丘小学校において体育学習発表会ですか、あったのを聞いています。また修学旅行も一部実施するというのは聞いているんですが、小学校全校なのか、中学校も全校やるのか、どうなっていますでしょうか。

○議長 玉城 勇君 教育指導主事。

○教育指導主事 大城 圭君 お答えいたします。小学校のほうは、小中学校全学校、修学旅行自体は実施はします。その中で小学校において元々１泊２日で予定されていた修学旅行を、１校は感染防止を徹底した上で、１校は１泊２日で実施、２校は日帰りで実施、今予定です。１校については感染状況を見て最終決定をしたいということで決定を待っております。中学校の２校については、日帰りで今後実施する予定です。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。少しほっとしました。実際、高校２年生の子から、中間学年だと楽しみがいっぱいあるのに、学校行事がほぼ中止になって、ク

ラスがまとまらない、楽しみがないという話があったものですから、本町においての小中学校の中で中間学年の楽しみがどうなっているのかなと。3年に上がれば、中3は修学旅行がある予定だった子がなくなって、南星と南風原でも違うんですけれども、その時期によって行ける子、行けない子、差が出てきたり、あの学校はいいなという。平等ということなのか、同じように楽しみがあって、同じように学べるという環境を持つべきというところでその差が出てくるのはかわいそうだなと思ったものですから、この質問をしています。今回、授業時数の確保の中では、先ほど1校は感染の状況を見て最終で判断するということでありますけれども、今まだ4連休の後に2桁の感染者が出て、南風原町でも昨日、おとといですか、またお一人感染が出たということもありまして、今後、感染第2波、第3波ということである中で、時数を確保するというのは本当に大事な問題で、最後駆け込みで詰め込んで授業をするよりも、今の段階からある程度余裕を持って時数を確保するための土曜日授業を検討してはどうかということでの提案になっています。実際、多分休校になったところがあったと思うんですけれども、そういったところと全くないところでは時数の確保の方法というのもやっぱり変わってくると思うんですね。できるだけ早めに検討して、そんなに無理せず授業できる方法、先日勇太議員からもありましたけれども、給食で使う予定だったレトルトを使ってとか、また授業の方法でも総合学習の授業を土曜日に持ってくるとか、いろんな方法で土曜日授業が、振り替えがいないものとか、また学校の先生の振り替え休の取り方も楽にできる方法とかあると思うんですね。そういったところも研究して時数確保については子供たちもいっぱいいっぱいにならない、先生方もいっぱいいっぱいにならない、行事もしっかりできるという内容にしてほしいんですが、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 現時点では、学校と調整をしながら土曜日は実施しないというふうにしているんですが、やはり今後の状況や今の現状とかを継続しながら学校と確認しながら、また土曜日についてもまた検討、あと行事、授業内容を工夫しながら先生方も子供たちが楽しく学校生活ができるようにとか、授業内容の工夫とかも行っておりますので、その辺もまた継続しながら検討してまいりたいと思います。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。私は前向きな答弁だと思っております。子供たちのためにも環境をよくして、楽しく通えるようにということです。休みの間は結構子供たちも学校へ行きたいと言っていたのに、行き始めるといっぱいいっぱい詰まってきてきついと言い始めるようなので、できるだけ穏やかな環境の中で、いっぱいいっぱい詰め込みすぎないように。それでいてちゃんと最終の時点である程度の学習が終わっているというふうにしてほしいと思います。学校は勉強だけじゃなくて、集団生活、社会生活を学ぶ大事な場でもありますので、授業だけにとらわれず是非活動してほしいと要望して、この質問を終わりたいと思います。

問い2のほうに行きたいと思います。前回質問した際、学校のほうも避難場所として予定しているということで、台風時には役場とかちむぐくる館等を開所する予定と聞いていますが、台風9号、10号についてはどちらのほうを開所したか確認しておきたいと思います。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えします。台風の際にはちむぐくる館のほうで9号、10号とも対応しております。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 9号、10号の際にはかなり大きくなるという想定があったので、南城市とか、早期に対応したところは建物の施設内にテントを張ったりとか、プライベートが守られるような設定になっていましたけれども、今回はどのような対応になっていましたでしょうか。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えします。今回はブルーシートのほうでちむぐくる館の舞台の後ろのほうの和室については、ブルーシートで6部屋を確保して、ホールの方にはテーブル、またダンボール等ある機材を活用して、密を避けるために部屋を分けて設置しております。また相談室、会議室ですね、そちらのほうには体調不良とか感染疑いがある方も可能性がありますので、そちらは部屋を分けて設置しております。また感染者との動線も考慮するという事で国、県からもありましたので、そちらのほうトイレ等を分けて対応してまいりました。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。写真を一応情報としていただいているんですけども、確認させていただきました。前回やったときには見直しがどうなっているかということでやったんですが、計画のほうの見直し、修正予定は今のところ進捗状況とかはどうなっていますでしょうか。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 防災計画につきましては、今議会でも質問がありましたが、国、県、あと他の市町村の状況も確認しながら必要であれば、計画の変更も取り組んでいきたいと考えております。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。南風原町はどちらかといえば、大雨とか台風とか、そういったときの避難が多いと思いますけれども、今コロナで世界中が大騒ぎしている状況でありますけれども、コロナだけではなくて、自然災害もかなり多くて、アメリカのほうでも火災とか中国のほうでも水害があったりとかありますが、沖縄県、今の時点で大きい災害という形で、台風以外そんなにないということで、避難場所としてそんなに大騒ぎするような状況でもないのかなという雰囲気もあるんですが、実際いつ何が起こるか分からない状況の中ですので、北丘小学校も先日、善之議員からもありましたが、避難場所として指定されていますけれども、前回のときには一番最初は一義的には体育館がメインで、その後、教室、今コロナの中で教室とかという話もありましたが、体育館のほうはまだギャラリーのほう、かなり水が漏れてなかなか大変な状況と聞いておりますけれども、そちらのほうの修復をして、子供たち、以前あったんですが、犯罪が町内であって、早期に帰宅させるというときに、体育館に集合して親に返すということもあったものですから、体育館集合というのはどうしても避けられない部分も、コロナの中で今はあるかどうか分かりませんが、体育館の使用というのもこういった災害とかのときにはあると思うんですが、早めに対応しないといけないことなのかなと思いますけれども、今、耐力度ということであつたんですが、そういった水漏れに関しては簡易的にでも直しておくべきだと思いますが、いかがですか。

○議長 玉城 勇君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん 必要と判断したときには修繕していきたいと思います。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 大雨の際の写真は以前にも提出しておりますので、今後また雨が降った際には、教育部局だけではなくて、補正も関わることでありますから総務にも投げかけますので、早めの対応をお願いしたいと思います。

今回、避難場所ということで、ちむぐくる館、かなり力を入れて設置していただいたと思うんですが、避難されてきた方の年齢性とか家庭の状況とか、避難の時間帯ですね、ちゃんと台風前に来てくれたかとか、そういったものの状況が分かればお願いしたいと思います。

○議長 玉城 勇君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 お答えします。台風10号に関しましては、6世帯で6人、皆さん台風が近づく前に来館しまして、解除後に速やかに帰宅ということになっています。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん すみません、総務のほうからもありますか、補足……あれば。設営については全部、やっているんですか。総務のほうでも状況が分かれば。

○議長 玉城 勇君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 それでは補足して説明いたします。世帯数については、9号のときに7世帯9人ですね。大体高齢者の方で独居高齢者のご夫婦という内容です。10号に関しても6世帯、6人。5人の方が高齢者という内容となっております。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。9号、10号ともに高齢世帯の方がほとんどということで、雨の中避難されてくるよりも、やはり事前の設営と避難を促してということでしたので、是非適正な運営と、早めの対応を。以前はじんじんメールじゃなくて、何でしたか、災害のお知らせのメールが南風原町は遅いと言われていました。みんな結構鳴るんですよね。その中で、最後に来たのが南風原だったということで笑ったときがあったんですけども、それだけ避難しないでも大丈夫な場所、波浪警報がない唯一の町です。そういったところもあるのかなと思いますけれども、是非早めの対応をして、また設営についても今後、それぞれの避難場所が安心して避難できるような環境をつくっていただきたいというふうに思います。

次に町道10号の質問に行きたいと思います。県との調整ではなくて、できるかどうかの確認という形で見るんですけども、以前は要望していくというふうに聞いております。地域の要望としては、行政懇談会とか、そういったオーナーのところからも声はあったというふうに聞いていますし、反対に東新川のほうでは歩道は設置されるとしか説明されていなくて、両側とか何の説明もなく、ただ、今、両側が。東新川の協和のほうに歩道があるので両方につくものだと思っている方もいらっしゃるんですね。そういったところでは地域の方がまだ片側での設計ということを理解されていない方も多かったんです。話をしてみると、何で両側につかないのかと、これだけ拡張するのに片側で、また途中で渡ったりというような、ちょっといびつな形になるのかということがあったものですから、早くこれは調整をして、また地域の要望があるのかないのか、確認する必要があるのか、地域に下りてちゃんと説明をして、その中での要望聞き取りをするべきだと思います。皆さんは以前やっているから、多分みんな理解してこの状況と思っているかもしれないんですが、理解じゃなくても、両方につくものと前提で話を聞いて、納得されている方も多いいですね。そういうところで早期に対応していくべきだと思いますけれども、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 都市整備課長。

○都市整備課長 宮城良武君 奈津江議員の質問に対してお答えします。以前、今年度の



第1回定例会のときにも質疑はありまして、我々も県に出向いて、今答弁のとおり県の回答は地域との要望とかによって、片側を両側へ、もしくは恒常的なものができるということとは確認しております。先ほど議員がおっしゃる東新川の皆さんが、歩道がつくつかないもよく分からないとかということもありましたけれども、こちらの資料では平成23年に、この事業が24年度に始まっていますけれども、23年度に地域説明会において案内が58人中38人の方が参加しております。その中においても歩道の構造だったりとか、道路の形態とか、そのときにはまだ実施設計も行っていない段階であるんですが、その後にも平成24年度の実施設計事業が入るんですけれども、そのときにも43人の方が参加して、歩道はどこにつくかということはやっているんですけれども、地域との認識が薄いところがあるんですけれども、先ほど議員がおっしゃるように、今後こういう変更があった場合は、大名の地域の方、東新川の地域の方にも相談というか、こういう経緯になりますということで説明して、ちゃんと地域の要望に添った計画で、またやっていきたいと思っております。以上です。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。町道10号線はかなり大きい改良になるので、時間もお金もかかると思うんですけれども、せっかくかけて不便と危険がついてくると、何の意味もないというふうに思います。実際、コミヤ食堂側で歩道が切れて下に下りると、以前説明があったんですけれども、渡って、大名側に下りていって、また道を渡ってという形で、行ったり来たりが多い、横断をしないといけない形が結構あったので、雨降りに坂道の中、子供たちがわざわざ渡るかといったら絶対渡らないと思うんですよ。今、居住の環境を見てみればどこに、子供たち住居環境、大名側じゃなくて東新川から下りてくるときの環境を考えればどうなるかというのは分かると思いますので、是非ですね、危険がないように。雨の日とかに見えない中、子供たちがあの坂の途中で横断すると考えるだけでちょっと怖いなど。今の形状で考えるから余計かもしれませんが、道が広くなるとさらにまた渡る距離が長くなって、難儀だから渡らないとか、そういうことにもなりかねないので、是非そこは再度、調整してやっていただきたいというふうにお願いしたいと思っています。

次に4点目です。資源ごみへの対応ということで、今回、那覇市のほうが草木処理を燃やすごみとして、処理することを検討していると。答弁のほうでも検討事項で、焼却する方針が決まったことではないと回答があったということです。ということは検討しているということですね、那覇市のほうで燃やすごみとして出すかということ、この答弁を見ると。ですよね、どうですか。

○議長 玉城 勇君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん 那覇市の担当課サイドでは、まだ検討事項にはなっていないそうです。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん じゃあ、どちらがやっているかは分からないんですけども、その話があるというふうに聞いています。実際、那覇市が3,000トンぐらいの草木処理があつて、南風原町が400トンぐらいということで、これを燃やすごみと考えたときに、これまでは草木は資源ということでやっていますので、実質、草木が搬入されてくるときにはまだ生木の状態、全部きれいに乾燥していない状態に入ってくると思いますので炉の状態も変わりますし、これからの考え方も変わってくるはずなんですね、これだけの量があれば。余力があるとはいってもこれまでの前提と違う形になってくるのでとても心配しております。なぜかという、以前那覇市のほうから汚泥のほうを燃やすごみとして処理したいと、年1回、2回であれば大丈夫だろうといことがあったものですから、実際、簡単に考えてもらっては困るという観点からの質問です。資源は資源としてどういうふうにするのか。予算がないからこうしようと簡単に決められると、受け入れた地域からすればどんどんごみを増やしていくのかという視点になりますので、予算ありきではなくて、どういった適正処理が大事なのか。お金が生まれればいいのか、だけではないというふうに言いたいと思います。実際、この草木処理、今堆肥化しているということで、業者にもいろいろお願いしたりとか、業者が変わったりとか、入札の関係もあると思いますが、以前もありました。以前からやっているところが途中で変わったりとかもありましたよね。そういった中で堆肥化したりとかそういうところでは設備投資等もやっているわけですから、そういった受け入れてきたところを切るような対策もちょっと問題じゃないかなというふうに思っています。実質、入札で変わるのであれば別に問題はないと思いますけれども、そういったところで自分たちがこれまで立ち上げてきたリサイクルループのような形でやっているもので、ただ燃やせばいい、ランクを下げて熱処理でも再利用だろうというような考え方では、これまで南風原が取り組んできたことを否定することにもなりかねませんので、是非そういったところでは那覇市がこう動くから南風原がこう動く、同じように動くじゃなくて、ちゃんと検討してやって、自分たちがやっていることが正しいという判断でこれまでやってきていると思いますので、そういうふうに動いてほしいんですけども、いかがでしょうか。

○議長 玉城 勇君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん お答えします。議員がおっしゃるとおり、財政が厳しいからすぐ燃やすというものも、なかなかそう簡単に行くものではありません。環境の問題とか今後の資源の問題、これからの子供たちの生活をしていく上での問題とかいろんなものがかみ合ってきますので、私たちもいろいろ、今後南風原町はどうしたらいいかというので、今後検討していきたいと思っています。

○議長 玉城 勇君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。10月には施設組合のほうでも議会があ

りますので、そちらのほうでも確認をしていきたいと思っていますけれども、南風原町としての立場をしっかりといただかないと、施設を受け入れた東新川の皆さんに対してもちゃんと説明がつかない部分、また事業を受け入れてくれている事業者に対してもどういうふうに説明していくのかという問題も出てきますし、今後ちゃんと事業に取り組んでいく中で、やはり一部事務組合の在り方というのもしっかりと相手の言い分だけではなくて、こちらの立場、言い分、状況、住民の理解までしっかりとやっていただかないといけないと思いますので、要望して終わりたいと思います。以上です。